

第7節 臓器移植・造血幹細胞移植対策

- 臓器移植の推進を図るため、都道府県コーディネーターを設置し、臓器移植の普及啓発及び臓器あっせん業務を行っています。
- 角膜移植を推進するための普及啓発及び登録促進事業を行っています。
- 平成24年4月末で骨髄移植を希望している患者が全国で3,077人おり、移植を受けられない患者が多いため、一人でも多くの患者の移植が実現できるようドナー登録者の拡大に努めます。
- さい帯血移植を推進するための普及啓発事業も実施していきます。

1 現状

(1) 臓器移植

- 臓器の移植に関する法律及び都道府県臓器移植連絡調整者設置事業の推進について（臓器移植対策室長通知）により、臓器移植の普及啓発及び臓器あっせん業務を行う都道府県コーディネーターを設置しています。
- 平成22年7月に臓器の移植に関する法律が改正され、本人の臓器提供の意思が不明な場合も、家族の承諾があれば臓器提供ができるようになり、脳死での臓器提供件数が大幅に増えています。

(2) 角膜移植

- 啓発登録推進事業として、角膜提供者の登録促進事業や角膜に関する知識の普及啓発事業を実施しており、平成23年度末現在、角膜登録者数の累計は122,805人となっています。

■ 県内の角膜提供登録者数及び献眼者数の状況

年度	～17	18	19	20	21	22	23	累計
角膜登録者数	115,552	1,503	1,251	1,258	1,517	1,051	673	122,805
献眼者数	1,263	30	52	49	45	66	68	1,573

※公益財団法人 かながわ健康財団 腎・アイバンク推進本部への登録数

(3) 造血幹細胞移植

- 平成22年度末現在、骨髄ドナー登録された方は全国で380,457人であり、患者登録後、最初の適合検索でひとり以上のHLA適合ドナー*が見つかる確率は95.1%となっています。
- 現在、県内の骨髄ドナー登録受付窓口は、日本赤十字社の献血ルームに7箇所、並びに小田原と大和の県保健福祉事務所及び横須賀市保健所に設置されており、また、常設の登録窓口の外に、定期的にドナー登録会を実施しています。

■ドナー登録受付窓口

日本赤十字社	横浜駅西口献血ルーム
同	横浜駅東口クロスポート献血ルーム
同	上大岡献血ルーム
同	かわさきルフロン献血ルーム
同	みぞのくち献血ルーム
同	クロスウェーブ湘南藤沢献血ルーム
同	本厚木献血ルーム
小田原保健福祉事務所	
厚木保健福祉事務所大和センター	
横須賀市保健所	

- 全国で事業を行っているさい帯血バンク（日本赤十字社関東甲信越さい帯血バンク、東海大学さい帯血バンク等）が、それぞれの提供施設（産科病院）で採取された、さい帯血の検査、分離、保存及び公開を行っています。

2 課題

(1) 臓器移植

- 臓器提供の意思表示については、運転免許証や医療保険の被保険者証の裏面に臓器提供に関する意思表示欄を設けるなど普及啓発に取り組んでいるものの、臓器移植の定着を図るためには、一層の普及啓発が必要です。
- 「臓器の移植に関する法律」の運用に関する指針（ガイドライン）の改正（平成24年5月1日）により臓器提供可能施設が34施設から57施設に増え、各施設の協力体制の整備が必要です。

(2) 角膜移植

- 現在把握している待機者数のほか、輸入角膜に頼る患者など潜在的な待機者も存在しているため、更なる角膜提供者の拡大が必要です。

(3) 造血幹細胞移植

- 平成24年4月末で骨髄移植を希望されている患者が全国で3,077人おり、移植を受けられない患者が多いことから、ドナー登録者の拡大が必要です。
- 造血幹細胞を多く含んでいるさい帯血を、移植を希望する患者へより多く提供できるように、大量のさい帯血を冷凍保存しておく必要があります。

3 施策

(1) 臓器移植（県、関係団体、医療提供者、県民）

- 臓器移植の推進を図るため、引き続き、県臓器移植コーディネーターを設置するとともに、臓器移植の窓口となる院内コーディネーターを養成し、医療機関の協力体制の整備を図ります。

(2) 角膜移植（県、関係団体、県民）

- 移植待機者の減少及び待機期間の短縮化を図るため、より多くの県民に対する効果的な普及啓発や登録促進を図っていきます。

(3) 造血幹細胞移植（県、市町村、関係団体、県民）

- 常設のドナー登録受付窓口を確保するとともに、定期的に休日ドナー登録会を実施します。
- 骨髄移植に対する正しい理解の普及と骨髄ドナー登録を促進するため、普及啓発事業を実施します。
- 「神奈川県造血幹細胞移植推進協議会」において、造血幹細胞移植の普及啓発について協議していきます。

■用語解説

※ HLA適合ドナー

赤血球にA・B・O・ABの血液型があるように、白血球にも型がある。HLA型といわれるこの型は、ヒト白血球抗原 (Human Leukocyte Antigen) の略で、その組み合わせには数万通りあります。骨髄または末梢血幹細胞移植のためには、骨髄等提供者 (ドナー) と患者のHLAが適合することが必要です。